

明星大学心理相談センター センター便り



長い長い梅雨のあと、猛暑が突然やってきて続き、やっと秋の色と気配を感じる季節になってきました。様々なことに集中でき、取り組める気持ちを高めてくれる季節でもあります。この秋が終わる初冬には、公開講演会を開催致します。講演会に多数の参加があり、実りある会になることを期待しております。(センター課長 前田 敏之)

第13号(2019年9月)
発行：心理相談センター



* ミニコラム *

第11回 「変わりゆくものと変わらないもの」 心理相談センター相談員 小嶋嘉子
元号が令和に変わり、新しい時代が幕を開けました。私事ですが、この4月に着任し、臨床心理士・公認心理師を目指す若手の育成に携わることになりました。奇しくも私的にも新時代のスタートです。得てして人は年を取るにつれ、変化に弱くなっていくように思いますが、気持ちを若返らせてこの環境の変化を楽しみたいと思います。

さて、先日、テレビで「ワンピース」の映画を観ました。ストーリーのテンポの速さ、映像の斬新さに圧倒されましたが、ストーリーがつかめるようになると、あれ？これ、見慣れた景色だなと思いました。「ルパン三世」です。義賊たちが友情の絆で結ばれ、強い権力者(お金持ち)に立ち向かっていく、というテーマが、どちらにもあるように思っただけです。

時代は加速度的に早くなり、メディアは多様化し、情報量もそれに伴って膨大になります。時代についていけない、とため息をつきたくなることもあります。人も昔も、根底に流れている、人の心の理の大事な部分は、ザッピングするようにコロコロと変わるものではないでしょう。時代とともに見え方は変わっても、人の心の本質は大きくは変わらないのではないのでしょうか。引きこもりの時代といわれますが、ネットの発達とともに引きこもりやすくなった環境の中で、引きこもりながらも、誰かを希求する姿が見え隠れします。

さあ、『ワンピース』を買って読んでみるか、というと、今更？もう古いですよ、と若者たち笑われてしまうかもしれませんね。

* 2019年度 10月～3月 閉室日 *

10月：2日(水)・3日(木)	12月：28日(土)～31日(火)
14日(月)・22日(火)	1月：1日(水)～4日(土)・13日(月)・18日(土)
31日(木)	2月：11日(火)・24日(月)
11月：4日(月)・6日(水)	3月：20日(金)
23日(土)	

※日曜日閉室

* 公開講演会のお知らせ *



『子ども・若者が変わるとき』

—育ち・立ち直りを支え導く少年矯正の実践と課題—

〈2019年度 公開講演会〉

日時：2019年12月8日(日)

13:00～15:00

会場：26号館102教室

主催：明星大学心理相談センター

どなたでも参加いただけます



*以前の公開講演会の様子

講演者：
多摩少年院 院長
木村 敦 氏



再犯防止が我が国社会の課題となっている今日、非行少年等を育て直し、立ち直りを支え導くために少年矯正の現場でどのような活動が行われているのかについて、最前線で活躍されている多摩少年院院長木村敦氏よりご講演いただきます。長年にわたる現場経験から得られた貴重な知見は、心理臨床の専門家だけでなく、医療・教育・福祉など様々な領域の専門家、子育てをする保護者や若者支援の関係者にとって大変役立つ視点や知恵となるはずですのでぜひご参加ください。

講師プロフィール：
多摩少年院長。有明高原寮長、札幌矯正管区第三部長、法務省矯正局少年矯正課長を経て現職。

◆申込み方法：

大学ホームページをご覧ください。

下記URLへアクセスし、申込みフォームよりお申込みください。

<https://form.hino.meisei-u.ac.jp/psycenter/kkk2019/>

【申込期限】2019年11月30日(土)17時

◆参加費：無料

◆定員：100名(先着順)

